

子どもの防犯と 安全対策は

公明党津山市議団 岡 安 謙 典



質問→児童生徒への危機意識向上の教育・訓練の取り組みは。また、不審者情報の連絡体制、津山っ子かけこみ一一〇番の設置状況は。

答弁→各学校において危機管理マニュアルを作成し、不審者対応訓練や防犯教室などを実施し、自ら危険を回避する具体的な方法を体験するようについて。不審者情報は、県警察少年サポートセンターから市教委へ、更に学校へ

とつながり、緊急かつ重要な案件は学校から家庭に知らせが届く。かけこみ一一〇番は千五百十六箇所設置している。

質問→行政サイドの子どもの防犯及び安全対策は。

答弁→下校時の交通指導を含めた見回り活動強化と青色回転灯装備の防犯パトロールカーを年内には運用開始。

質問→合併後の最優先事業と政策遂行に目標値の設定を。

答弁→生涯学習センターなどは地元要望が強いことは承知しているが全体事業の中で優先度を付して計画化を考えなければならない。倭文保育所は幼児の安全、安心の面から重要事業と考えている。数値目標の設定は成果測定にも

第四次総合計画 「基本構想」について

新風会 北 本 周 作



つながり前向きに検討したい。

質問→障害者自立支援法における福祉サービスは。

答弁→従来の縦割りの身体、知的、精神障害のサービスを一元化し自立支援を目的とした共通の制度でサービスを提供する。また、行政窓口の一元化は今後の検討課題としている。

子どもの安全・ 防犯を機構改革で

政津クラブ 高 橋

誠



質問→一宮の六階建てマンションは農地法違反の建物として県知事から現状回復命令、工事中止命令が出されたが工事は完成間近という。隣接農業者からの承諾書は二階建て住宅に使うとの説明で作成、申請されたもので最初からだました違法なもの。正直者がばかをみる。これでいいのか。

答弁→県と連携、対応しているが市単独での対応をたとえば進入路、給水の制

限が可能か研究している。

質問→ニュー農パーク用地活用に地域農業の発展につながると期待されている。どのような方向を考えているか。

答弁→三・五ヘクタールを農地復旧、ピオーネ、イチゴの栽培園地を中心に農場整備、十八年以降は残地の復旧、園内道路、水道、管理棟、加工場、駐車場整備など予定。

質問→都市計画道路「河辺—高野山西線」の道路一般財源化による将来見通はどうか。子どもの安全対策は行政一体化と機構改革が必要ではないか。指定管理者選定での競争性、選定委員会への専門家の導入はどのように図られたのか。

答弁→県道バイパスとして平成十六年秋に関係者の測量同意をおおむね得てきました。一般財源化によつて道路事業への

国庫事業費の低減が予想されるが路線の緊急性と重要性から地元期成会の立て上げの協力を得て早期事業化に努めた。子どもの安全、防犯では来年四月に機構改革を行い機能の充実を図ることをめざす。公の施設二百十一の老朽化施設等の統廃合に努め競争性を研究したい。弁護士、公認会計士に経営コンサルを加える事を研究したい。